

『危機状況下における教育支援とジェンダー平等』

教育がつくる未来 危機下の子どもたちとジェンダー平等の実現を目指して

2025 **8.20** 水 15:20~16:50
in パシフィコ横浜 展示ホールD(中会場)
言語: 日本語・英語(同時通訳)

参加費
無料

主催: 公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
共催: Education cannot wait、教育協力NGOネットワーク(JNNE)

©ECW

世界では、紛争や自然災害など人道危機の影響を受ける、2億3,400万人の子どもたちが教育支援を必要としています。そのうち8,500万人は、学校に通えていません。

しかし、どんな状況にあっても、「学ぶこと」は子どもや若者の未来を支える力になります。

教育は基本的な人権であり、社会を変える力を育みます。

横浜から世界へ — TICAD9で危機状況下の教育の役割を考える

2025年、アフリカと日本が共に未来を考える国際会議「TICAD9(第9回アフリカ開発会議)」が横浜で開催されます。キーワードは「共創」。若者や女性との協働が重要視されています。その実現には、高等教育や職業訓練だけでなく、すべての子どもたちが基礎教育を受けられることが不可欠です。

「Education Cannot Wait(教育を後回しにはできない基金、ECW)」は、危機状況下の子どもたちへの教育支援に特化した国連基金です。これまで40カ国以上で、ジェンダー平等を視野に入れた教育支援を展開してきました。本イベントでは、サブサハラアフリカの事例をもとに、プラン・インターナショナル、ECW、UNESCOの取り組みを通じて、「危機下でも教育を止めない」「教育を通してジェンダー平等を目指す」ことの大切さを考えます。

————— 教育から始まる変革に、あなたも一緒に参加しませんか? —————